

市災害対策本部図上訓練について

昨年 8 月 11 日に発生した駿河湾を震源とする地震での災害対策本部運営の課題を踏まえ、的確な情報収集および伝達や指示系統の検証などを目的とした訓練を実施します。

災害対策本部長（市長）をはじめ、各班の班長以上の職員などが、県中部危機管理局の協力を得ながら、情報伝達の流れを検証するとともに、被害情報を地図にプロットするなど（DIG）「見える化」を通じた情報の共有を図ります。

記

1 日 時

平成 22 年 2 月 16 日（火） 午後 1 時 30 分から午後 4 時まで

2 場 所

牧之原市役所 榛原庁舎 5 階 庁議室

3 訓練対象

災害対策本部長（市長） 各班の班長以上、情報班 約 40 人
（県中部危機管理局 2 人が協力予定）

4 訓練想定

大規模地震（東海地震）が突然発生し、沿岸部への津波襲来をはじめ、市内各地で物的・人的被害が発生。

市民及び関係機関からの情報に基づき、発災直後からの災害応急対策を実施する。

5 訓練内容

(1) 各種付与情報により、榛原庁舎と相良庁舎の情報班と本部間での情報伝達を検証する。

(2) 8 月 11 日に発生した駿河湾を震源とする地震での被害情報などを地図にプロットするなど、見える化を通じた情報の共有を図る。

6 参考

「DIG」とは、大きな地図を囲みながら、参加者全員で災害時の対応策などを考える訓練のことで、Disaster Imagination Game の頭文字を取って「DIG（ディグ）」と名付けられました。